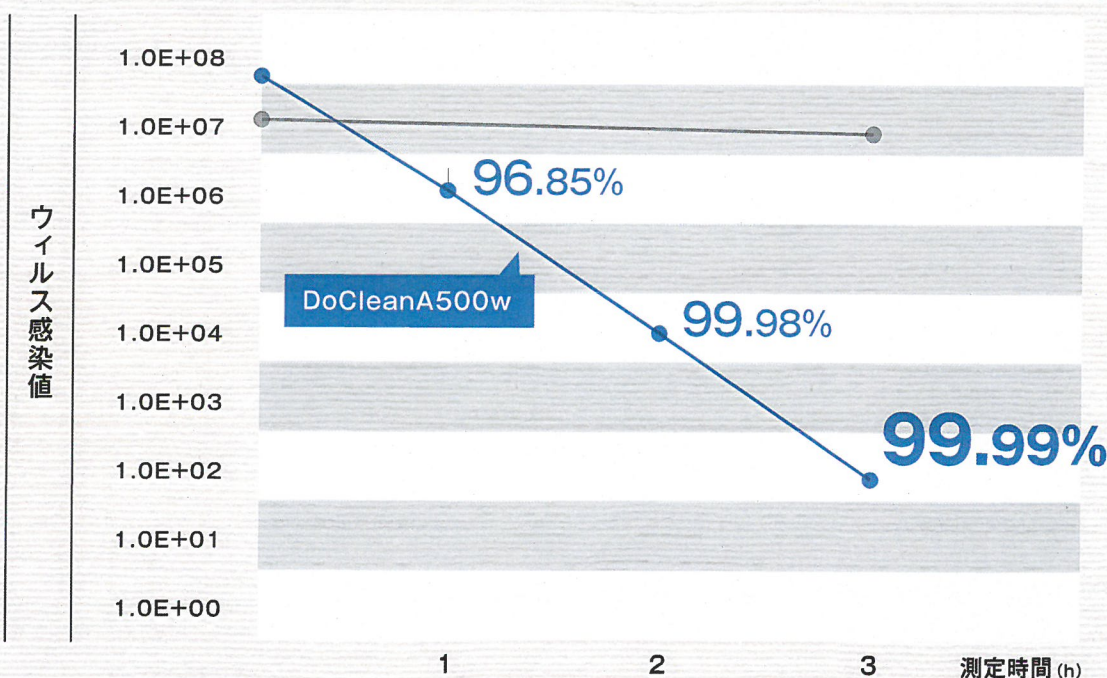


A型インフルエンザウイルス感染時の経時変化

(財)北里環境科学センター試験結果

測定時間	0	1	2	3
試験機作動(濃度0.1ppm)	2.0E+07	6.3E+05	6.3E+03	7.2E+01
コントロール(濃度0ppm)	7.2E+06	***	***	7.2E+06



試験日時 平成21年11月25日
 試験場所 (財)北里環境科学センター
 微生物ウイルス課
 試験ウイルス A型インフルエンザウイルス
 試験資料 第一製電機(株)製
 DoCleanA500w
 二酸化塩素ガス発生装置
 濃度0.1ppm

試験方法

- ① ウィルスに付着させたシャーレをチャンバー内に置く。
- ② 試験機を稼働させ経時的にシャーレを回収。
- ③ シャーレからウィルスを回収。
- ④ 回収したウィルス液の感染値を測定。



DoClean A500W